

2 苗立期の水管理

浅水管理で茎数の増加を促進させましょう (図2・3)。

3 溝切り・中干し

- (1) 5 mに1本以上の割合で溝を切り、水尻としっかりと連結しましょう。
- (2) 排水の悪い場合は、溝を多く設置しましょう。
- (3) 茎数が目標穂数の8割に達した場合は、速やかに中干しを開始しましょう。

※中干し開始の目安(コシヒカリ)

鉄コーティング: 播種 40 日後頃

カルパーコーティング: 播種 35 日後頃



図2 深水による影響

〔鉄コーティング〕



〔カルパーコーティング〕



図3 播種から溝切りまでの水管理

うまい米づくり情報 第4号

平成30年5月20日
なんと農業協同組合
砺波農林振興センター南砺班

浅水管理で初期茎数の確保と 除草剤の適期散布による雑草抑制を!

移植

1 活着後の水管理

浅水管理（2～3cm）で田水温を高め、分けつの増加を促進させましょう。
※寒い日や風の強い日は深水にする

2 除草剤散布 ～使用基準をしっかりと守りましょう～

気温が高いと雑草の発生が早くなるため、雑草の大きさを確認し、除草剤は遅れずに散布しましょう。

(1) 散布時は、水の出入りを止め、散布後7日間

程度は湛水状態(水深5～7cm)を保ち、
田面を露出させない。

(2) 除草剤成分が水田外へ流出しないよう、

散布後7日間はかけ流しや落水を行わない

よう注意して下さい。

※詳しくは【営農のてびき】p.30～33を参照。

3 溝切り・中干し

(1) 田植え後1ヶ月頃を目安に中干しを始めましょう。

(2) 水管理効率を高める為、中干し前に確実に溝切りを行いましょう。

(3) 5mに1本以上の割合で溝を切りましょう。

(4) 排水の悪い場合は、溝を多く設置しましょう。

※茎数が目標穂数の8割に達した場合は、速やかに
中干しを開始しましょう。

※各品種の目標茎数は【営農のてびき】JA米生産基準
(p.46～69)を参照する。

直播

1 除草剤散布

※詳しくは【営農のてびき】p.34・35参照

除草剤散布後7日間は湛水状態（水深5～7cm程度）を保ち、除草剤の効果を高めましょう。

※水管理は移植の【図1 除草剤散布時の水管理】を参考

【鉄コーティング】

2回目の除草剤:イネ1.5葉期を確認後に(ウイナー1kg粒剤51)を散布しましょう。
※薬害を軽減するためには、少し田干しを行い、ころび苗が立つてからとしましょう。

【カルパーコーティング】

1回目の除草剤:播種後5～7日頃に入水し、イネ1葉期を確認したら、直ちに
ウイナー1kg粒剤51を散布しましょう。

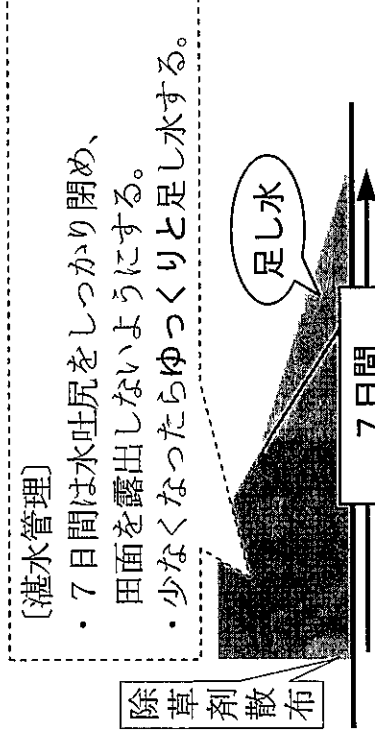


図1 除草剤散布時の水管理

